

(参考和訳)

GNS Japanのトップ交代のご報告

リナス・ベターマンの後任として、三谷原 基が就任

この度GNS社の日本法人であるGNS Japan株式会社の取締役兼CEOに三谷原 基が就任することになりました。GNS Japanの設立より3年間に亘って日本事業の推進に注力してきた、GNS営業部長であるリナス・ベターマンより職位を引き継ぐものです。

GNS Japanは、日本市場向けに開発された使用済燃料用キャスクであるCASTOR® geo26JPについてのライセンス取得と日本キャスク市場への参入、及びGNS社の他の製品・ソリューションをお客様に提供するために2021年初めに日本法人として設立され、現在東京に8名の社員を擁しています。

リナス・ベターマンのコメント：「経験豊かな同僚をGNS Japanに新たに迎える事ができ嬉しく思います。彼が有する日本のエネルギー市場についての知見とこの産業におけるネットワークを活用し、ともに日本市場における当社事業の発展を成し遂げて行きたいと思っております。」

ダニエル・オーア（GNS最高経営責任者）のコメント：「2021年の設立より、リナス・ベターマン以下チームの尽力によりGNS Japanは確実にステップを踏んでまいりました。三谷原 基の参画により、当社は日本市場におけるプレゼンスをより強化するのみならず、この国際経験豊かな新たな同僚とともに当社マネジメントチームの強化、当社のさらなるグローバル化を進めていく所存です。」

三谷原 基：公共政策論修士号を取得の後、2023年4月まで15年間伊藤忠商事株式会社で原子燃料関連ビジネスを担当。直近約1年は、蓄電池製造や再生可能エネルギーを手がけるPowerX社で事業開発マネジャー。